

兵庫県庁で「石川応援メニュー」

障害者事業所のカレー提供

令和6年3月1日 15時22分



能登半島地震の影響で売上げが落ち込んでいる石川県内の障害者の就労支援事業所を支援しようと、県庁内のカフェで、事業所で作られたカレーの提供が始まりました。

「石川応援メニュー」として3月1日から県庁内のカフェで提供が始まったのは、石川県内の障害者の就労支援事業所で作られたカレーです。

能登半島地震の影響で、事業所では食品の売上げが落ち込んでいることから、県が食べて被災地を応援しようと企画しました。

カレーには、石川県白山市で採れた唐辛子が使われているほか、ごはんには、地震の影響で倉庫での保管中に複数の銘柄が混ざったコメが「復興米」として使われています。

40代の女性は「辛くもなく誰でも食べやすそうでコクがあっておいしかったです」と話していました。

また、50代の女性は「石川県の食材を食べて応援するという活動の輪がこれから広がっていけばいいなと思います」と話していました。

兵庫県ユニバーサル推進課の相浦輝之 課長は「食べることで被災地の支援につながると思うので、多くの人に協力してもらいたい」と話していました。

県庁内のカフェは誰でも利用することができ、カレーは700円で4月末まで提供される予定だということです。